

**第3回連携推進委員会
五カ年計画推進チーム
報告事項(本年度の総括)**

五カ年計画推進チームNGO側委員
事務局 稲場 雅紀

五カ年計画推進チーム(NGO側委員) の期代わり

- ◎NGO側委員: 連携推進委員会の元に設立、NGO側メンバーは連携推進委員の承認が必要
- ◎連携推進委員会: 来年度改選→改選後の連携推進委員会でNGO側メンバーを別途承認する必要
 - ⇒今期NGO側委員の任期は、次回連携推進委員会まで
 - ⇒来年度については、次期連携推進委員会で選任した新「チーム」メンバーが参加することとなる。
- ◎今期五カ年計画推進チームの成果の確認と評価は今回の連携推進委員会で実施

本年度五カ年計画推進チームの総括

◎本年度五カ年計画推進チームの総括

- (1) 本年度の実施事項と実績
- (2) 特にNGO連携無償改革の実績
- (3) 積み残し課題、来年度への教訓など

今年度五力年計画推進チーム実施事項

項目	ODA事業への 参画	NGOの能力向上	人事交流 の拡大	NGO連携無償
実施 事項	090227コミ開無 償勉強会	090427活動環境 整備支援事業意 見交換会		090427N連意見交換会 (第1回)
	090618コミ開無 償第2回勉強会	090518連携推進 委員会		090728N連意見交換会 (第2回)
				100117N連意見交 換会(第3回、連推主催)
調査 研究 事項	※無償スキー ム勉強会(研) ※コミ開ワーク ショップ(研) ※提案型プロ 形ワークショップ (研)	◎活動環境整備 支援事業受容ア ンケート(0904)		◎N連資金需要アンケート (0907) ◎N連制度改善アンケート (0911) ◎091130N連制度改善 ワークショップ(研) ◎N連制度改革意見集約 (1001)

※「研」はNGO研究会事業。

本年度五カ年計画推進チームの評価

分野	実績	把握	評価
ODA事業への参画促進	<ul style="list-style-type: none"> ◎コミ開勉強会2 ◎民間提案型プロ形勉強会1 ◎個別案件の成立には結びついていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ODA本体事業はNGOを前提として設計されておらず、参入にはスキームの見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「ODA本体事業」参画の土俵作りをはじめられる段階に至った？
NGOの能力向上促進	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査実施1 意見交換会実施1 	<ul style="list-style-type: none"> ◎制度への評価は基本的に高い ◎NGOが求められる能力にあわせてカリキュラムの検討必要 	<ul style="list-style-type: none"> ◎政策面での連携など、より多様な課題での連携強化に資するスキームが求められる
NGO人事交流の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◎チームとして検討なし ◎旧来の人事交流制度は十分でない 		<ul style="list-style-type: none"> 新たな観点からの取り組み必要
NGO連携無償	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見交換会3 ◎アンケート3 ◎資金額・スキームの自由度ともに大幅に改善 	<ul style="list-style-type: none"> ◎N連の規模拡大、制度見直しが実現 ◎草の根技協の増額と並び、NGO支援の「新時代」へ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎従来NGOが望んでいたスキームの緩和、資金拡大で成果 ◎新たな課題も

積み残し課題

項目	積み残し課題
NGO連携無償およびNGO向け支援スキーム	◎資金増・規制緩和で新たな課題(案件形成の積極化、NGOの質の向上・能力強化、コンプライアンス向上) ◎地方・中小NGOなど、多様なNGOセクターに対応できる多様なスキーム形成と、アクセスの強化に向けた努力が必要(草の根技協の草の根協力支援型、活動環境整備支援事業など含め)
ODA本体事業への参入	◎NGOの存在を前提とした、NGO参入を可能にするためのスキームの改善の必要性(コミ開無償、協力準備調査(民間提案型)など) ◎NGOの参入インセンティブの拡大
能力向上の促進	◎NGO連携無償・草の根技協の資金拡大に対応したNGOの能力向上(案件形成の積極化、コンプライアンスの向上等) ◎ネットワーク・政策提言型NGOの能力強化、活動の積極化に向けた支援枠組みの検討 ◎地方NGOの活動環境整備支援
人事交流の拡大	◎新たな視点からの検討拡大